

⑫『自分・相手・周りの人』 授業展開（略案）

範読4分

- ・資料を読む。

ポイント：妊産婦の気持ちを理解させ、周りの人の気持ちを理解させ、周りの人の気持ちを考えさせることにつなげていく。

場面発問①・・・妊産婦の思いを考える。

「どんな気持ちからマタニティマークをつけているだろう。」

- ・電車などの揺れなどにより、おなかをぶつけるなどから守りたい。
- ・車での移動や事故やけががないようにしている。
- ・胎児を守るためにつける。配慮してほしいため。 ・気をつけてくれる。

場面発問②・・・周囲の人々の思いを考える。

「マタニティマークをつけている人以外から見える周囲の人の気持ちはどうだろう。」

- ・マウざいなあ。 ・優しくしてやりたい。 ・仕方ないなあ。 ・めんどくさい。

○補助発問：「アンケートで掲載されている「イヤな顔をされた」という回答についてどう思うか？ ・悲しい。 ・つらい気持ちを理解してもらえない。 ・守ることが大切なのに・・・

場面発問③・・・マークを自由に発想させる。

「他にどのようなマークがあると良いと思うだろう。」→自由な発想を！

→補助発問：「こんなのあったらいいなと思うマークを発明しよう！」

- ・思いつかない場合は、参考のマークを紹介する。

高齢者用マーク ・ヘルプマーク・補助犬 バス優先席 ・ユニバーサルデザイン（UD）

- ・ピクトグラム など・・・

これ以外には？どのようなマークが必要？→ 介護者・保育者マークなど？

★色々なマークの発想が出たら・・・→それらに共通する「思い」は何だろう？

- ・周囲への配慮・・・交通機関での譲り合い・移動での支援（階段など）・言動や発言
思いやり・優しさなど・・・

主題発問

『このようなマークがなくても良い社会ってどんなものだろう？』→フリー話し合い活動

- ・お互いに気づき、助け合う行動や周囲の人への配慮などをすることでよりよい社会になる。
- ・社会的弱者への思いやりや積極的な働きかけ・ボランティアなどすることが大切である。

感想

→公共の精神や社会参画への考え方を育てるようにする。↓これを目指していく。

主題：よりよい社会を築き上げるために